

リサイクルシティ

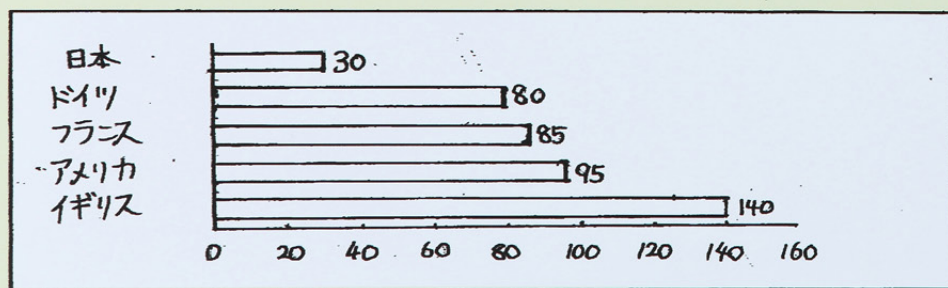
問題

建築廃棄物問題

建築廃棄物問題って？

日本の住宅は海外の住宅に比べ平均寿命が短いことで知られています。それにより建築廃棄物が多くなり問題になってきています。

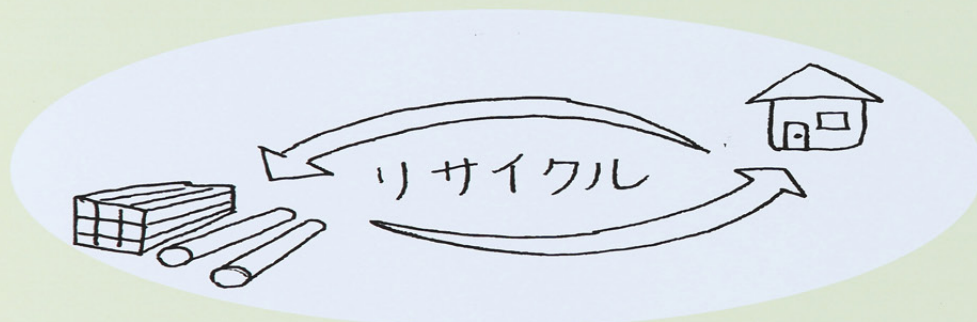
このような要因が挙げられてしまう原因は海外との価値観の違いです。住宅の平均寿命が140年のイギリスでは古いものに価値があると考えています。日本では家族のための設計をすることが一般的。つまり、自分の家族に合った間取りの家に住もうとしてしまいます。そのため、日本の住宅は一代限りのものになってしまっています。



一代限りのものになってきている日本の住宅の寿命を延ばさない限り、建築廃棄物問題を解決することは出来ません。中古住宅の欠点は間取りが固定されてしまっているところが挙げられます。家族構成に合わせて間取りを変更することが出来ないのです。リフォームしたとしても結局廃棄物が出てしまいます。そこで住宅自体の寿命を延ばすのではなく住宅の寿命を延ばす案を考えました。

それが『リサイクルシティ』です。

リサイクルシティとは...



ある地域の中で使う木材を統一し、その木材を再利用するというものです。家族構成が代わり建て替えることになった時はもとの部材を利用し、新築を建てる時は前に住んでいた家の部材を利用することが出来ます。

※実際に震災時に仮設住宅として使われていた様々な間取りへの対応が可能なキットハウスというものがあります。なので、木材が統一されていても様々な間取りの家を建てる事が出来ます。

建築廃棄物のまちへ

